

奥能登原木しいたけ

「のとてまり」・「のと115」だよ

<発行者> 奥能登原木しいたけ活性化協議会、石川県農林総合研究センター

これまでの積雪によりハウス倒壊などの被害を受けた皆様にお見舞い申し上げます。原木しいたけのシーズンはまだはじまったばかりですので、ハウス栽培、露地栽培など、今できる方法で栽培管理を続けてください！！

降雪が多い時期の注意点

ハウス栽培の積雪への備え

- ・ハウス内の中柱(つかい棒)はしっかり固定します。
※ 積雪、融雪を繰り返すと緩むので、再確認しましょう。
- ・ハウスの天井に雪を乗せたままにせず、ハウスの外から強制的に落とします。
- ・大雪の予報が出た場合、比較的気温が高い日中からストーブなどをつけ、ハウス内の気温を4度以上に保つようになるとハウス上への積雪を防げます。
※ 火災やハウス内での一酸化炭素中毒に十分注意してください。
- ・ハウスの横にたまった雪は、除雪や、散水により融かします。
※ 積雪がハウスの肩を超えると倒壊の危険が急激に高まります。

露地栽培

- ・露地でも袋掛けが有効です。袋は風で飛ばされやすいので、上部2箇所をピンで留めます。
- ・さらにホダ全体をビニール等で覆い、すそは10~20cm開けておきます。温度や湿度を保ち、雨や雪を防げます。

<露地での栽培管理の事例>



露地でも袋掛けは有効



露地栽培で行う防雪、防雨のためのビニールかけ

「のとてまり」初競りで過去最高の26万円！

出荷10年目を迎える「のとてまり」の初競りが、12月18日に金沢市中央卸売市場で行われ、埼玉県の「鉄板焼Dinning M's Rou」が「のとてまりプレミアム(8玉入り)」を過去最高額となる26万円で競り落としました。

初競りで県外の飲食店が競り落とすのは今回が初めてで、他県でものとてまり・のと115の魅力が発信されています！



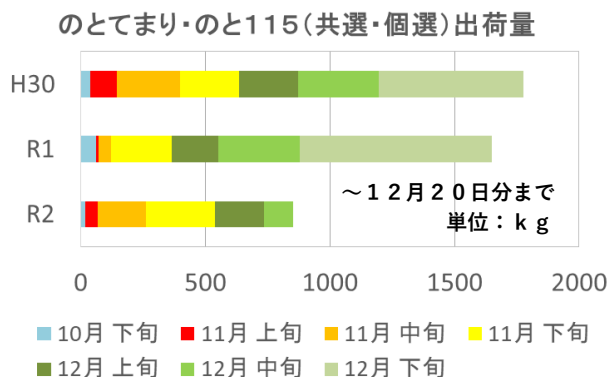
初競りにかけられた
のとてまりプレミアム(8玉)

※裏面に続きます。

出荷の現状と今後の見込み

例年と同様に11月上旬からのと115の出荷が始まり、11月下旬までは比較的順調であったものの、12月10日以降は出荷量が大幅に減少しています。

ハウスに搬入された原木では、形のよい追い芽が確認できることから、1月中旬頃から出荷量が増えるの見込んでいます。



1月から「のとてまり」「のと115」フェアが始まります！

1月から、県内で「のと115フェア」がスタートし、首都圏では石川県ゆかりの店で「のとてまり・能登牛フェア」を開催します。

お店からは「ほとんどのお客さんが大きさと肉厚さに驚かれます！」「他の椎茸と比べものにならない肉厚感！」「(東京のお客さんが)能登での栽培方法にも興味を持った！」と、毎年好評をいただき、今年も多くの店舗に参加していただけることになりました！

**県内28店舗、首都圏8店舗が参加し、
「のとてまり」「のと115」を数多く注文をいただいていますので、
1玉でも多く共選へ出荷していただきますよう、よろしくお願ひします！**

◇のと115フェア

1月12日(火)~3月7日(日)までの期間中、能登地区の7店舗、金沢地区16店舗、野々市・小松地区3店舗において、「のと115」を使った創作料理を提供してもらいます！



レストラン花菘蒲 (能登町)
「ノトリア」

◇のとてまり&能登牛フェア

1月6日(水)~1月17日(日)には、首都圏の料亭、イタリアン、フレンチ、中華、鉄板焼きの8店舗において、のとてまりと能登牛を使った期間限定料理を提供してもらいます！



スーツァンレストラン陳 (東京都)
「のとてまりとフカヒレの姿煮込み」

お近くへお立ち寄りの際はぜひご利用いただき、近くにお住まいの方にもご紹介ください。
(参加店舗の一覧は別添資料)